

夜中にトイレが詰まりインターネットで検索して表示された業者に来てもらった。「高圧ポンプで3万円かかる」と言われ応じたが、「さらに特殊な機械での通貫作業が必要で22万円かかる」と言われた。請求金額は25万円と高額であったが、夜中でもあり急なことだったので仕方なく現金で支払ったが、よく考えると高額である。

(70歳代 女性)

「トイレ修理」「水漏れ修理」「鍵の修理、交換」「害虫・害獣駆除」などは、急に起きて困るトラブルです。そのような時に手助けとなるのが暮らしのレスキューサービスの業者ですが、「インターネットで検索して一番上に表示された業者に依頼をした」「ポスティングのチラシで見た業者に依頼をした」という人がトラブルに遭っているケースがみられます。

広告の中には「修理費490円から」「業界最安値」「最短10分でかけつけ」「24時間対応」など急なトラブル時には思わず依頼したくなるような言葉が並んでいます。緊急時ですから、早く業者を探したいと思うのは当然ですが、焦って業者に連絡し、トラブルが起こってしまっただけでは何のためのレスキューサービスかわかりません。

実際に作業が始まると次々に作業内容が増えていき、また、消費者には分からない専門的な言葉を並べ、最終的には考えていた修理費用とはかけ離れた金額を要求されるケースもあります。

急なハプニングが起こると、焦って冷静な判断ができなくなることが多いため、日頃から信頼できる業者をいくつか探し、情報を集めておきましょう。インターネットなどに表示される格安料金をうたった広告を、うのみにしないことも大切です。契約するときはサービス内容や料金についてよく検討し、複数社から見積を取ってから依頼しましょう。業者から「今すぐに修理しなければならない」とせかされて契約を迫られても、納得できないときはきっぱりと断りましょう。

万が一、契約や解約に際し、業者とトラブルになった場合や、不安に思った場合には最寄りの消費生活相談窓口（消費者ホットライン「188」）などに相談しましょう。